平成27年度　学校経営計画

那覇市立石嶺中学校

錬心

石嶺中学校は「人間性豊かで、たくましく生きる生徒の育成」のため、尊重(respect)・協働(share)・体験活動(experience)を実践します。

学校経営3つの理念

スピード感　**学社融合**　**地域協働**

主な教育活動の概要（２０１５年度）

１　特色ある取り組み

○生徒指導･教育相談の充実
　小動物との触れ合いを通したアニマルセラピーの実践
○食農教育の充実（教材園・熱帯果樹園等）
○人権教育、平和教育の推進
○地域連携事業の推進（旗頭・琉舞・空手等）
○サマースクールの充実（学校・保護者・地域）

２　教育環境の充実

○学校・家庭・地域・関係機関が協働する学校づくりを推進する
○確かな学力の定着と主体的な学習態度の育成を図る
○地域の特性を生かした教育課程の編成を推進する

３ キャリア教育の視点を踏まえた学力向上の取組　今日的意義の共通理解と実践

（生きる力の育成・後継者育成・社会の人材・街づくり）
・家庭学習の習慣化と充実（授業との連動と点検活動）
　(石嶺中学校家庭学習のルールと手引き配布)
・わかる授業の構築に向けた指導方法の工夫・改善
・　基礎・基本の定着、校内研修や公開授業の充実
・　なりたい自分　なれる自分
・奉仕、体験活動の充実
・各種検定試験の推進

４　生徒の学習・生活面等教育情報の積極的な提供

○学校情報の配信・発行
　・学校だより（錬心）、学年、学級便り等の発行、メールでの配信
　・保健室、図書館、進路通信の発行
○ホームページによる情報発信(月 1 回更新)
○地域の青少年健全育成団体との連携強化
○中央児相、児童園、交番、保護司、民生委員、指導員、補導員等との連携

1 学 校 経 営

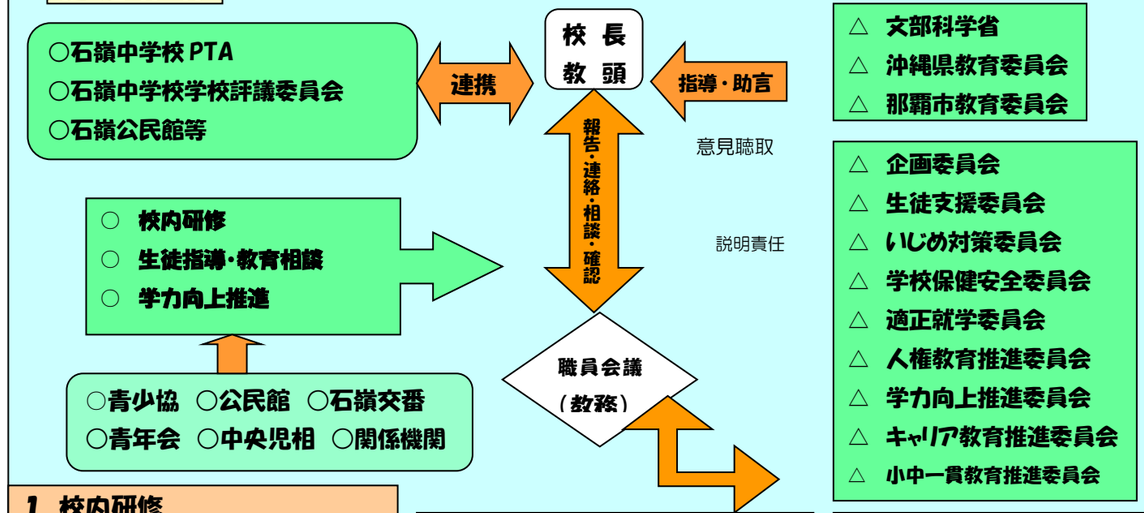
経営目標　①学社融合・地域協働による組織的・機動的な学校運営体制を確立する。
②生徒一人ひとりに確かな学力の定着と、主体的な学習態度を育成する。

経営方針　① 教師個々が、生徒の教育に情熱を燃やし、自信と誇りをもち、教師の個性が発揮される学校づくりを推進する。
②教職員・保護者・地域、関係機関等が連携を密にし、地域の特色を生かした創造的な学校づくりを推進する。
③生徒一人ひとりの可能性を引き出し、心の居場所や絆づくりを推進する。

経営の重点

1　授業改善・学力向上	2　規律ある学校づくり	3　居場所づくり・絆づくり
授業公開（全教諭） 指導方法の工夫・改善の成果を共有し言語活動の充実を図る。	人権尊重の理念を実践に活かし、思いやりの心と規範意識の向上を図る。	学校内外を問わず、文化・スポーツ等を体験させる機会をできる限り多く設定する。

推 進 体 制



2 「校内研修」「学力向上推進」具現化への取組

「生きる力」を育む学校づくり

～積極的な生徒指導に向けて･QU の活用を通して～

校庭の桜

「生きる力」の具現化を図る具体的な取り組み

1　校内研修や公開授業及び学校教育活動全体を通して、学び合う場、発表の場を工夫することにより言語活動の充実を図る。

※「活用する力」をはぐくむ授業づくり

〇生徒の実態把握の調査・分析・考察

〇基本的な学習習慣の形成を図る指導方法の工夫・改善

〇基礎的・基本的事項の定着を図る指導方法の工夫・改善

〇わかる授業の構築に向けた指導方法の工夫・改善

校内研修

2　「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「健康・体力の向上」や「基本的な生活習慣の形成」に係る取組の充実を図る。

○　読み、書き、計算の力を育成する指導（漢検・数検・英検の推進）

○　生徒の実態に応じた補充的な指導（学習支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ等の活用）

○　人とかかわる体験活動の充実（言語活動の充実）

○　言葉による伝え合う力の育成（言語活動の充実）

○　**保健・安全、食育に対する指導**

先輩に学ぶ

3　生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」を積極的に推進するため、一人ひとりの個性を尊重し、「体験活動」を充実させる。

○　外部講師との連携による夏休みサマースクール等の実施

○　職場体験学習など、キャリア教育の充実

○　食農教育の推進（作物栽培　総合学習，技術科と連動）

○　表現活動の充実（琉舞、ダンス、合唱、造形等）

○　地域行事等への積極的な参加（首里王朝祭や福祉祭、ハーリー等）

○　小動物の飼育活動等を通したアニマルセラピーの充実

地域行事(那覇ハーリー)

4　健康で安心、安全な教育環境の下で、保護者、地域、各関係機関と連携した積極的な教育活動を展開する。

○　保護者、地域と連携した生徒指導、教育相談体制の確立

○　学校評議員や保護者からの積極的な意見・提言の聴取

○　学校施設の積極的な開放と公民館、老人会、婦人会、青年会、各関係機関等との交流促進

○　夜間街頭指導の強化と充実

青少協石嶺フェスタ

教育環境の整備

・「チャイム席」と「授業開始の黙想」・「ノート指導の充実」・「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励

3 石嶺中学校　生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」

お菓子作り

職場体験学習

合唱コンクール

学級花壇コンクール

動物との触れ合い

熱帯果樹栽培

中体連夏季総体

運　動　会

地域協働で取り組む石嶺中旗頭

教科のマニフェスト

国語	・到達度テストで那覇市の平均正答率を上回ることを目指す。 ・定期テストで60%程度の正答率を目標に既習事項の定着を図る。
社会	・９割以上の生徒が課題プリント・レポートの提出を目指す。 ・定期テストで60%以上の正答率を目標に基礎的・基本的内容の定着を図る。 ・到達度テストでは、正答率で県平均３ポイント以上を目指す。
数学	・授業での発表の場を設定し、言語活動の充実を図る。 ・基礎的・基本的な知識・技能を活用する力と定期テスト等で６割以上の生徒の正答率６０%を目標にし、基礎的・基本的内容の定着を図る
理科	・定期テストで平均６０点以上を目標に、基礎的基本的内容の定着を図る。 ・自由研究の取り組みを活発化させる。提出率８割以上を達成させる。 ・達成度テストでは、県平均・市平均を上回る。
英語	・自分や身近な人物、物事を紹介する文５～８文程度書ける（１年） ・行った場所やそこでの出来事を順序立てて８文以上書ける（２年） ・あるテーマについて賛成、反対の意見を理由も含め８文以上書ける（３年）。
音楽	・発声練習を継続させ響きある声、合唱作りを目指す。 ・リコーダーは８割以上の生徒が、課題の曲を演奏できるようにする。 ・鑑賞の基礎基本の定着を図る。
美術	・表現、鑑賞の基礎基本の確実な定着を図る。 ・作品を大切にする心を育てる・９割以上の生徒が作品を完成できるよう支援する
体育	・７割以上の生徒に水泳25m以上を泳げるようにする。 ・生徒の持久力を向上させる。 ・機敏な集合・整列ができるようにする
技家	・作品の完成と定期テストで６０%以上の正答率を目指す。 ・基礎的・基本的事項の定着を図る。 ・家庭分野のノートや提出課題の達成率75%以上を目指す。 ・家庭分野の定期テスト正答率７５%以上を目標に基礎的知識と技能の定着を図る